

# 「学校経営ビジョン」

<学校教育目標>

学び続けて 未来を拓く 矢田野っ子の育成

<育成を目指す資質・能力＝めざす児童像>～児童に寄り添い、児童の育ちに目を向けて～

知識を関連付けて  
考える力  
(わかった! ⇒  
使いたい・試したい)

聴いて再思考し  
表現する力  
(なるほど! ⇒  
伝えたい・聴きたい)

他者と連携し  
協働する力  
(できた! ⇒  
一緒にしたい・みんなでしたい)

◎授業づくり・集団づくりの充実

【「つなげる」「発信する」「創造する」学習活動・学習環境の構築】

- ・基礎学力の定着 ・聴く力・話す力の育成 ・ICTの活用
- ・道徳科授業を核にした道徳性の涵養 ・人権感覚の醸成 ・多様性の尊重
- ・運動が苦手な子も楽しめる体育科授業の工夫 ・児童主体の児童会活動

研修の充実（教師の研修観の転換）

特別支援教育の理解と推進

自己実現を支える生徒指導の実現

【特別支援教育と生徒指導の連動】

- ・日常的な発達支持的生徒指導（生かす・認める・つなぐ働きかけ）
- ・実態把握、児童理解 ⇒ 組織的対応（校内、関係機関との連携）
- ・特性理解の促進 ⇒ 個に応じた指導・支援

【幼・小・中の連携】

- ・児童生徒・保護者・家庭の状況・実態の把握と共有
- ・現状と課題（学力、体力、学校評価アンケート結果、生徒指導の重点）等の共有

【保護者・地域との連携と分担】

- ・学校の取組の周知（行事等取組の目的・児童の成長、変容を中心に）
- ・課題意識、危機意識等の共有（生活習慣・メディア利用・防災・安全等）
- ・地域人材（施設）等を活用した体験活動（地域理解、伝統文化継承、郷土愛育成）